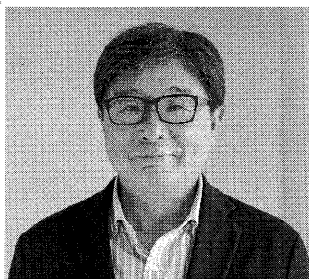


持続可能なキャンプや社会作りのために グッドキャンパーを育てよう

兵庫県キャンプ協会会長／日本キャンプ協会副会長 高見 彰



新型コロナウイルス感染症も落ち着きを取り戻し、街中にも人があふれ日常生活が一気に戻ってきたように感じながらも、近々第8波が広がり医療逼迫が起こるというニュースも飛び込んできます。私自身の生活を顧みると、With コロナの生活様式が定着の一方で、諸外国からノーマスクの映像が流れてくると、「もう大丈夫!」といった根拠のない安心感からくる気の緩みが頭を持ち上げることもまた事実です。

さて、こうした状況の後押しもあってかアウトドアブームが止まりません。昨夏以降も海、山、川の人気キャンプ場は予約が取れないほどの活況を呈し、テントやウェア、グッズなども飛ぶように売られています。キャンプ関係者としては、この状況は歓迎すべきですが、同時に一部の心ない人達のモラルの欠如やルール違反、他人への気遣い不足、事故・安全に対する理解不足が、様々な問題を引き起こしています。近隣サイトのキャンパーをはじめ、キャンプ場や地域、自治体に迷惑をかけるなど社会問題化し、このままではキャンプ場にこと細かい禁止事項の看板が立ち並び、規則や条例など規制が厳しくなり、良識あるキャンパーの活動や楽しみが却って狭められてしまう恐れが出てきています。

こうした状況の中、アウトドアメーカーやキャンプ関連団体が、グッドキャンパーの啓発に力を入れるようになってきました。日本キャンプ協会では、『社会の隅々までキャンプを届ける』というビジョンのもと、安全で楽しいキャンプの普及のために、他団体と協力しながらグッドキャンパーを増やす、グッドキャンパーキャンペーンを展開しています。

日本キャンプ協会は、“グッドキャンパー”を『キャンプを楽しむために、そこにある自然、そこで出会う人、そこに住む人たちに対し、思いやりと敬意を持ち、ルールやマナーを守り、常に安全を最優先し、誠実な態度で責任感のある行動ができるキャンパー』と考えています。キャンプのノウハウや楽しみ方は、今やインターネットからたやすく手に入れることができます。私たちはサステイナブル（持続可能）なキャンプや社会作りに必要なグッドキャンパーとしての精神的リテラシーも同時に伝えていかねばならないと強く思っています。

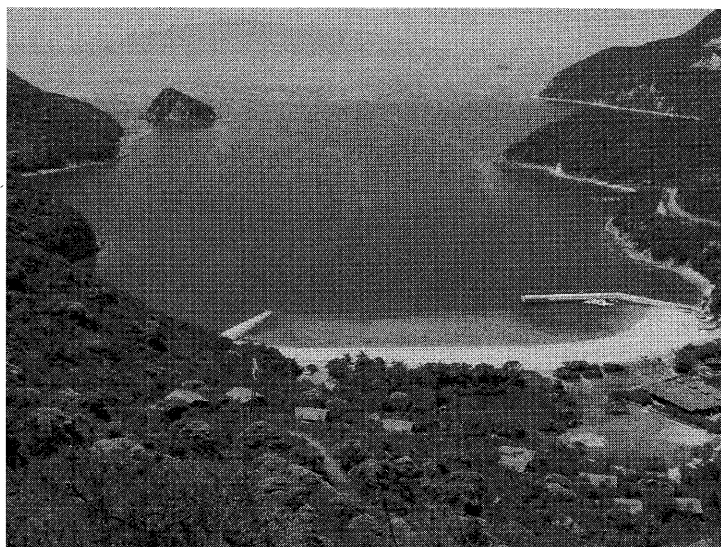
2023年がスタートしました。アウトドアで元気をそいで笑顔の、たくさんの仲間たちと
出会えることを願っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。 兵庫県キャンプ協会



せとうちの冬 味わいのデイキャンプ

募集中

— いえしまで冬の味覚の野外食 —



この時期の恒例、火を囲む会食をいえしま自然体験センターで行います。

船便と徒歩でたどり着く自然豊かなロケーションの中、ゆったりした時間を楽しみながら活動します。

希望者は前日から宿泊で冬のいえしまを満喫しましょう。

日 時：2023 年 2 月 26 日(日) 10:00～16:00(姫路港集合～解散)

※前泊も可能です。25 日(土)10:30(姫路港集合)

会 場：いえしま自然体験センター

=姫路港までのアクセス=

①JR 姫路駅・山陽電鉄姫路駅→神姫バス「姫路港行き」(駅北 1 番乗り場 94 系統)で姫路港まで約 20 分)

②山陽電鉄飾磨駅下車、徒歩 5 分の「飾磨工業高校前」バス停から

(神姫バス「姫路港行き」(94 系統)で姫路港まで約 10 分)

③自家用車で 姫路バイパス→*姫路南 I C より約 20 分 *中地 I C より約 10 分

対 象：会員および家族・友人(定員 20 名)

炭火を扱い野外調理を楽しめる方、準備や片付けにも意欲のある方

参加費：3,000 円(子ども 2,000 円)(昼食代、船代含む)

前泊の方は別途大人 9,000 円(子ども 8,000 円)

(1 泊 3 食：鯖ジャブ、加-ガック体験も)

内 容：9:30 姫路港集合／概要説明

10:00 姫路港発(チャーター便) 10:40 施設棧橋 徒歩移動

11:00 いえしま自然体験センター

○ 海苔摘み体験(養殖海苔網)と野外調理(炊飯場)

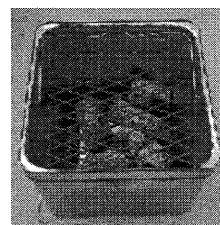
メニュー 焼き物として(カキをふくむ海鮮・野菜等)

スタッフ提供として(汁物 デザートを含む料理)

ソフトドリンク(お茶、コヒー等) ※アルコール類は各自で用意

14:00 片付け 14:30 センターより徒歩移動 15:00 施設棧橋発(チャーター便)

15:50 姫路港解散



かまどは一斗缶 1/2 サイズ、2 重構造でフタ付き、使用後は収納しながら密閉消火ができる(消し炭)

持ち物：マスク、ハンカチ、軍手、火気使用や防寒、上記活動に備えた服装、靴

※施設棧橋～施設中央地区までの徒歩移動(約 1 km)を考慮した荷物に。※前泊の方は別途案内送付。

申 込：①氏名(会員No)②人数③連絡先④交通手段⑤前泊有無を fax または e-mail で下記へ

兵庫県キャンプ協会 ☎ 078-333-7677 fax 078-333-7677

e-mail hyogokencamp-zimukyoku@mbr.nifty.com

尼崎市立美方高原自然の家(とちのき村)情報

尼崎市立美方高原自然の家は、兵庫県北部美方郡香美町の標高720mに位置しています。春から秋は森、沢、山などの自然を活かしたツリーイングなどのプログラムができ、冬は2mをこえる積雪を活かしたかまくらづくりやスノーシューハイクなどを行うことができます。無料レンタルが充実しており、テント寝袋をはじめスノーシューなどの貸し出しが可能です。利用日の1週間前までに予約を完了すれば、個人、家族などのグループから学校まで利用可能です。ホームページから仮予約できます。利用の形態は、宿舍泊、テント泊、日帰り利用です。

【イベントスケジュール】

- 1/14~1/15 美方高原ウインターフェスティバル
- 1/20~1/22 スキーキャンプ
- 2/4~2/5 わんぱくスノーキャンプ
- 2/25 クロスカントリースキー体験
- 2/26 スノーシュー体験
- 3/3~3/8 ウインターエクスペディション
- 3/12 スノーシュー講座
- 3/25~3/28 春キャンプ



お問い合わせ先

尼崎市立美方高原自然の家 (愛称:とちのき村)
〒667-1532 兵庫県美方郡香美町小代区新屋1432-35
電話:0796-97-3600 FAX:0796-97-3602
ホームページ <http://obs-mikata.org>
メール: sora@obs-mikata.org

ホームページ イベント情報



キャンプインストラクター講習会

主催:神戸市立自然の家 共催:兵庫県キャンプ協会

募集中

様々な野外活動に少しでもかかわりのある方、また興味のある方、この講習会でキャンプの基本スキルや考え方を学んでみませんか? また危機対応や安全管理についても学んでいただける講習会です。全期間終了後、希望者は検定を経て、(公社)日本キャンプ協会認定「キャンプインストラクター」の資格が取得できます。

日時: ①2023年2月11日(土)10:00~17:00 ②18日(土)~19日(日)1泊2日の計3日間
【①が都合の悪い方は右記の日程でも参加可能 2023年2月17日13:00~19日15:30(2泊3日)】

会場: ①神戸市青少年会館(JR神戸駅徒歩7分)

②神戸市立自然の家(JR六甲道、阪急六甲、阪神御影よりバス、ケーブル)

内容: キャンプ理論・基礎実技・応用実技 計20時間を講習

参加費: ひとり15,000円(講習会専門テキスト・宿泊費・2日間の食費・保険料含む)

※2泊3日で受講の希望の方は別途2,500円(宿泊費・夕、朝食費)必要

申込: 住所・氏名・年齢・性別・電話番号・勤務先又は学校名・交通手段を明記しメールまたはFAX・郵便にて「神戸市立自然の家」まで。後日詳細の書類を送付いたします。

締切: 2023年1月31日(火) 定員は概ね20名程度

その他: 資格取得検定・申請費用は15,300円。最終日の検定時に別途必要です。ご持参ください。
(申請費用には受講料・公認料・入会金・初年度会費等が含まれます)

=申込み・お問い合わせ先=

神戸市立自然の家(〒657-0101 神戸市灘区六甲山町中一里山1-1)

電話 078-891-0001 Fax 078-891-0002 e-mail: info@kobe-macearth.com

*自然の家ホームページ(kobe-sizennoie.com)にてプログラムその他の要領(申込様式等)をご確認ください。

兵庫県野外活動指導者基礎講習

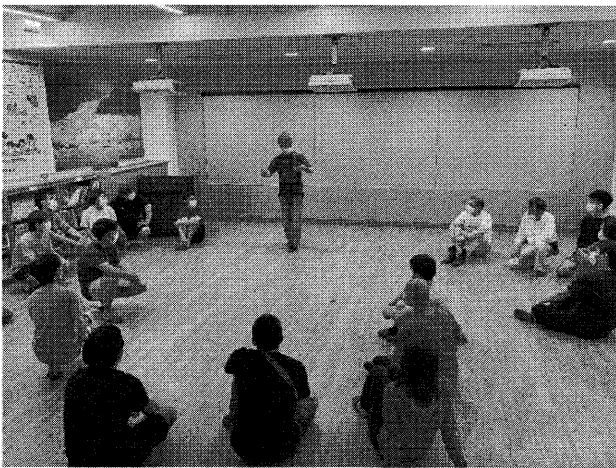
書店をのぞくと目立つところに並ぶアウトドアの文字… 数年前には人通りのない通路の片隅にあるかないかの扱いだったキャンプ関連本コーナーも今や、本棚から溢れんばかりの取り扱いがみられます。コロナ禍で拍車のかかったキャンプブームは、単なるブームを超えてカルチャーとして定着しつつあるのではないともいわれています。都市文明に囲まれ、またそれが欠かせない現実の生活をおくっている私たちにとって、こうした時代を生き抜くためにも癒しを求めた自然への回帰はしばらく続くことでしょう。

危惧すべきは、キャンプ＝レジャーというカルチャーが成立しかねないということです。実際に、レジャーとして民間のキャンプ場が増加する一方で、教育的視点から公共が維持してきた数々の野外施設は次々と姿を消しています。単なる娯楽のキャンプでは、野外体験の効果はあるとしてもごく一時的なものになりがちです。野外活動から持続的な効果を得るのであれば「あらゆる体験を生かし、そこから学ぶ」という教育的視点が不可欠なものとなります。だからこそ、キャンプには指導者が求められるのではないのでしょうか。活動のノウハウとともに、人と自然の歴史や出来事、体験を決して無視しない知恵です。

兵庫県において活躍する多くの指導者は、まだまだ個々人の経験則に頼りがちであるように見受けられます。もちろん経験は不可欠ですが、その経験をより活かすためには知識が求められます。特に情報化の進む現代において、指導者として誰かを引率する以上、知らなかったでは済まされない事態も起こりえます。キャンプが一般化しようとする中で、より効果的、そしてより安全な活動を支えるためには、指導者各々のより一層の基本的資質や技能の向上が求められます。

兵庫県キャンプ協会では今年度より独自に野外活動指導者に向けた基礎講習を展開しています。組織キャンプのメンバーとして求められる基礎知識を、日帰りやオンラインでも学習できるプログラムとして構成しました。これから野外で活動したい若者や学生はもちろん、指導者でも野外活動を体系的に学んだことのない方にとっては経験の棚卸の機会としても有用と考えています。

また、他機関・団体からのニーズを受け、キャンプならではの広い近接学問領域を活かして、アウトドアへのいざないから安全教育や環境教育、人材育成など、多分野への講師派遣の対応も進めています。変化の時代においても、県内のキャンプ指導者にとってハブのような役割も果たしていきたいと考えています。皆さん方のニーズにも応えながら、兵庫県キャンプ協会の活動を積極的に、また柔軟に進めていきたいと思えます。地域や活動団体、また指導者の皆様方からのご意見やご要望も、ぜひお聞かせください。



兵庫県キャンプ協会事務局

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-16-3 兵庫県民会館 7 階 0AA 気付

TEL/FAX 078(333)7677 ホームページ= <http://hyogo.camping.or.jp/> E-mail= hyogo@camping.or.jp

※すべてのプログラムの問い合わせ先です